

第 3 回国際センター駅北地区複合施設基本構想に関する懇話会について

1. 概要

- (1) 日 時：令和 5 年 1 月 29 日（日） 14 時 00 分から
- (2) 場 所：仙台市役所 二日町第五仮庁舎 10 階ホール
- (3) 意見交換：各施設（音楽ホール・中心部震災メモリアル拠点）の施設概要について
青葉山エリアに立地する施設としてのあり方について 等

2. 主な委員発言

【各施設の施設概要について】

《両施設共通》

- ・施設開館に先立ち、なるべく早い段階から専門的な活動ができる人材でチームを作り、その人たちが施設整備を具体化させるプロセスに参画することは大変重要。
- ・「交流」と「人材」に加えて、「創造」が重要なテーマ。「創造する」ということが「人をつくる」ことになるし、「施設を造る」ことになる。
- ・市内そして国内、海外に発信できるような、融合という言葉のもう少し上の価値を表現できるような言葉があるといい。

《音楽ホール》

- ・基本方針、機能、事業、内容が明確にされていて、中で企画、制作していく立場としては非常にやりやすい。
- ・リハーサル室は、本来、リハーサルや練習、あるいは小さな公演を行えるような場所としてあるべきで、会議などでの利用は臨時的なものとするべき。

《中心部震災メモリアル拠点》

- ・震災を知らずに生まれた子どもがまもなく中学生になっていく現実がある。未来につながっていくような施設になるといい。
- ・メモリアルで必要とされている活動、今活動されている方のニーズなどを踏まえて、事業内容などを精査することが重要ではないか。

【青葉山エリアに立地する施設としてのあり方について】

- ・「青葉山」との景観の一体性をぜひ守ってほしい。
- ・この場所に重なっている歴史を空間の中で感じられるような仕組みが欲しい。
- ・M I C E は仙台の文化芸術、災害文化を発信する機会と捉え、事業構想等に組み込んでいくといい。
- ・イベント開催時などには施設内や周辺の飲食店だけでは不足するため、キッチンカーや出店などの柔軟な受け入れ態勢があるといい。
- ・様々な文化的施設が集まっている地域なので、ぜひ相互に情報連携を図ってほしい。